



MINNA DE KOSUDATE
地域と学びを共にする大学 神戸常盤大学

神戸常盤大学公開講座

シリーズ

子どもの保育を考える 3回目

共働き家庭の増加に伴い、幼い子供たちを日中預かる保育園のニーズが高まっています。しかし、現状では待機児童の解消を目指して、質より量の充足のための政策が先行しています。でも、親にとっては子どもは唯一の存在。よりよい保育をしている園を選びたいですよね。このシリーズでは、保育についてあらためて考えます！

これからを生きる子どもたちに保育園でできること ～多様性を受け止める保育～

内容

「多文化共生」という言葉が広く使われますが、保育の場面では一体どういうことが多文化共生的な保育だと言えるのでしょうか。地域の多様性を取り入れた保育を、試行錯誤の中で長年にわたって実践してこられ、日々子どもと関わっておられる現役保育士の先生にお話ししていただきます。

講師

能登 浩美 (のと ひろみ) 先生

現役保育士 (社会福祉法人 石井記念愛染園 大国保育園) 20年以上の保育士キャリアの中で、多文化保育を試行錯誤しながら実践を続ける。

人数

- ① KITでの対面参加 10名まで
- ② オンライン参加

日時

2022年 1月29日 (土) 10時00分～11時30分

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に合わせて変更の可能性があります。

申込

申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/qtXReMtmbQgm3Rjt9>

申込締め切り 1月19日 (水)

申込フォームQRコード



場所

神戸常盤大学 子育て総合支援施設KIT

神戸市長田区久保町6丁目1-1

アスタくにづか4番館2F (ケースデンキ向かい)

TEL: 078-747-0919 FAX: 078-747-0955

k-uchihashi@kobe-tokiwa.ac.jp (担当内橋)

子どもがあそぶスペースや、ベビーカーを置くスペース、オムツ交換・授乳室等あります。

主催

神戸常盤大学地域交流センター

参加
無料

